

## 第2回めいほう協議会記録

日時：令和5年10月18日

場所：大教室

出席者：めいほう協議会委員4名、校長、副校長、教頭、各グループリーダー

13:20 開会

司会：

本日の流れについて説明

- ・5限の授業見学は、2グループに分かれて、それぞれ複数の授業を見学予定
- ・コミュニティー・スクール説明会への参加について説明

13:35~14:15 授業見学

- ・数学入門A 公共、数学II、英語コミュニケーションI

14:30 協議

会長挨拶：

横浜明朋高校は様々な理由で、全日制の高校へ行かなかった生徒達が集まっているが、皆、素晴らしい子供たちであると思う。学校を運営していくうえで、近隣の自分達が何か手伝いできればと思っている。先ほど授業を見学して、いろいろと工夫されていると感じた。今日は、日頃、思っていることを遠慮なく言っていただきたいと思う。

司会：

まず、5限目の授業見学について、感想やご意見を伺いたい。

委員：

11月には、小学校に横浜明朋高校の生徒が来て、出前授業をすることになっており、そのために先日、生徒が打ち合わせに来てくれた。同じ港南台で学んでいるという機会を積み重ねていければと思っている。

今日は、数学と英語の授業を見せてもらい、生徒と先生の教室の中での雰囲気が良いと感じた。授業の展開も生徒目線で進んでいて良い印象だった。教室をまわるにつれて、学びなおしの科目、生徒のニーズに応じてカリキュラムを組み、その先にある自分の進路に描いたものに対応していることが感じられた。

小学校では1年生からiPadを使っていて、先生方も対応に苦労している。中学校、高校でのICTの活用について小学校でも話題にしていきたい。

委員：

情緒面、学習面、どちらにも課題のある生徒にとってもとても素晴らしい授業であった。できること、できそうなことに取り組む適切な教材で、子供達が主体的・能動的に一生懸命取り組んでいた。81マス計算を終えた時の「終わった」という満足そうな表情や、採点をしている真剣な表情が印象的だった。

先生の前向きな声掛け、間違いをフォローする声掛けが素晴らしかった。それによって子供たちが間違いを恐れない雰囲気が感じられた。

黒板とモニターの使い方がとてもよく、見るべき場所を明確にし、取り残されている生徒がいなかった。子供たちにとってとても良い授業で、私自身、勉強になった。

委員：

教室の雰囲気が良い雰囲気で、生徒がどのようにしたら、興味を持つか、理解ができるか、工夫した教材が作られていた。生徒が余計なことをしたり、そわそわしている子供がなく、良い印象を持った。

司会：

次に、各担当から、学校評価目標設定について、中間報告をいたします。

教育課程・学習指導について：

目標としているICT機器の活用の中で、教員が越えなければならない山が多くある。ICT機器を、生徒が日常的に使えていない。職員会議のたびにICT活用の講習会を開いている。アプリの活用だけでなく教材の提示方法としてのICT機器の利用も活用の一つと考えている。他校の様子では、学校ごとに求められるものが異なり、活用していない学校もあると聞かすが、本校では、本校なりに使うことをめざしていきたい。

授業改善として、他教科の授業と自教科の授業を相互に見学する機会を設定している。

生徒指導・支援について：

ゆたかな社会性の育成を推進するために、講演会の充実を図っている。薬物乱用防止、身だしなみ、いじめ防止、交通安全、などのテーマで外部講師を招くなどして実施している。多様な環境の生徒に対応して、SC,SSWによる支援とともに、夏休み前後に生徒面談を行った。今後はサポートドックの活用もしていく。

活動支援について：

学校行事をとおして、生徒の活動・発表の場をつくり、自己表現の場としていろいろな活動ができている。生徒自身は楽しみながら、良く取り組んでいるように見える。文化祭の来場者は約400名。文化祭以外の大きな取り組みとして、ユニクロとの協働で衣料リユース

活動や小学校への出前授業など、ボランティア活動の場を提供できた。部活動の加入率は24%と目標の30%に届いていないが、全国大会へ出場する部活動もあり、剣道部の全国大会準優勝という結果は様々な活動を積み重ねた成果であると思われる。

進路指導・支援について：

社会に出ていく前の生徒に、社会とのつながりを意識させて、自分の適性に合った進路選択ができるかに指導の重点を置いている。講演会などで外部講師にも来校いただいている。今年度は就職希望者36名中30名の生徒が就職内定をしているが、引き続き、希望が叶うように努力していく。

地域等との協働について：

地域や外部機関との協働については、地球市民かながわプラザ多文化共生チームの協力を得て、6月に外国につながるのがある生徒・保護者対象の進路ガイダンスと行政書士による個別相談会を実施した。進路ガイダンスでは、日本の大学を卒業した先輩の話を伺い、生徒はどのように大学を選んだかなどを質問していた。保護者は、進路に関連した在留資格について個別相談を利用していた。

地域との連携活動として、11月に地域自治会による港南台駅周辺清掃に参加する予定。

11月、12月に生徒による地域清掃を実施予定。また、学校のWebサイト（HP）には、学校業や部活動の様子などをその都度掲載している。

司会：

続いて、ただ今の報告についてご意見をいただきたい。

委員：

小学校と重なる事項も多い。教育課程に関しては、先ほどの授業の中で本時の目標を示した授業の展開が分かりやすい工夫など、様々な教科の工夫に感じ入った。

小学校では、道徳の模擬授業の研修会があるが、そのような研修の積み重ねや、小中高の先生の間で連携する活動、高校での取り組みを知ることといった、職員相互の学びが大切だと思う。また、高校の生徒と小学校児童との交流など、できるのではないかな。

SC、SSWの話が出たが、小学校でも外部との支援体制を作っていくので参考にしたい。

小学校での活動では、他の人とのかかわりを大切にしているので、ユニクロとの活動なども小学校に帰って話題にしたい。

外国につながる生徒の支援については、小学校でも取り組みがあり、高校での取り出し授業について小学校でも話題にしたい。

委員：

生徒が先生の話に集中して聞いているのに感心した。先生方の工夫もあるのだろう。個々の生徒がいろいろな悩みを抱えている中で、個々の生徒の愚痴などを聞く機会が必要なのではないか。私たち近隣の人達が話を聞く場面があってもよいのではないか。生徒が集中して取り組んでいるのが印象的だった。

司会：

さらにご発言がないようでしたら、最後に校長より。

校長：

先日、小学校に伺った際に、小学校2年生の児童が体育館に移動するのを嫌がり先生方が様々な声掛けをしていた。小学校の頃からいろいろな特性を持った児童がいて、そのような子達が集まった本校の生徒にとって外部とのかかわりの中で、伸びてゆく部分を大切にしていきたい。学校という教育のくくりの中で対応できない部分、保護者との対応についても外部の力、地域の力を借りてゆきたい。

連絡：

・次回、第3回めいほう協議会は、3月22日（金）を予定している。

15：05 終了